

町田直希騎手がデビューします



「一般の家庭で育った子なのにもまるで厩舎で育った子みたいなんだよね」と秋山重美調教師。町田騎手のお父さんは地方公務員、お母さんは会社員とごく普通の家庭の3人兄妹の真ん中で育った。

そんな彼が騎手を志したきっかけは競馬好きのおじいちゃんの家に遊びに行った際いつも一緒に観た中央競馬の中継だった。馬や騎手の名前は覚えていないけれどテレビの中のレースで「カッコいいな、騎手になりたいな」とふと思ったのは小学6年生のとき。でもそのときは思っただけで中学生になってからは野球部のライトで野球少年の日々を送った。

「騎手になりたい」という心の奥に眠った夢が目覚めたのは進路を決める中学3年生のとき。「勉強嫌いで運動好き、体も小さかったから騎手になりたいと思った」という。まず、学校の先生に相談したけれど地方教養センターの資料を集めてくれたのはほかならぬ両親だった。

教養センターに入って1年が経とうとする頃、所属する場所を決める時期が来た。最初は地元の栃木県宇都宮を希望したものの「廃止」の話が出始めていたため断念。

川崎への道しるべは佐々木竹見さんだった。月2回講師として模擬レースを見ながら指導に当たっていた佐々木竹見さんが「川崎に行きなさい」と勧めてくれたのだ。偶然にも川崎の田邊調教師の奥様が遠い親戚だったこともあって川崎を希望した。

教養センターでは81期生。卒業供覧レースでは2着だったが、優勝した岩手の高橋騎手に対してもライバル意識はないという。9人いる同期とはライバルではあってもそういったことをまったく感じないくらい仲がよかったらしい。

今開催の初日第6レースで初陣を迎える。勝負服は「黄色一色」。本人は「今野騎手に憧れているので今野騎手の色違いの青にしたかった」そうだが秋山調教師の鶴の一声で「黄色一色」に。なぜ？と先生に聞くと「本当は赤一色がよかったんだけどね（笑）。佐々木竹見さんが攻め馬のときでもいつでも赤の無地のジャンパーを着ていてどこにいてもわかるくらい印象深くて。だから印象の深い騎手になるよう黄色一色がいいと思ったんだ。黄色は信号で注意の意味のある色、この騎手には注意しろって意味もこめてね。本人も今では「アピールどんどんしていかなきやいけないし今では黄色一色でよかったと思っています」と早くもプロ意識。

普段はレースを見て勉強したり、好きな音楽を聴いて過ごしているそう。J-POPの新曲は必ずチェックして最近お気に入りにはケツメイシだとか。

秋山調教師はとにかく町田騎手をべた褒め。「デビューのときの今野によく似てる。天性のセンスが備わってる子だよ。馬を怖がらないし、普通馬が暴れるとあのくらいの子は落ちまいと必死になるんだけど彼の場合は馬をなだめに入る。何があっても自分は落ちないって馬に言っているかのようによね。騎乗フォームもとてもいいし川崎に来てからもどンドンよくなってるよ。『昭和生まれ最後の大物』だね」。

名前	まちだ なおき 町田 直希
生年月日	昭和63年3月16日
出身地	栃木県
所属厩舎	秋山重美厩舎
身長・体重	157センチ 45kg
血液型	A型
星座	魚座
勝負服	黄一色
好きな騎乗法	先行
目標の騎手	今野忠成騎手



本人の目標は「まずは山崎騎手のようになりたい。追いつくことができれば今野騎手のようになりたいです。とにかく積極的なレースがしたい」。

話している間も笑顔を絶やさずとにかく人当たりのいい屈託のない明るい少年。まだあどけない感じはあるけれど芯はしっかりある印象の町田騎手。

夢に向かって今、一人の少年が川崎の空に羽ばたきます！

藤江涉騎手移籍

3月14日をもって宇都宮競馬が56年間の歴史の幕を閉じた。最終レースまで騎乗していた藤江涉（ふじえ・わたる）騎手は「こみ上げてくるものがあっただけ意外にも涙はこぼれなかった」という。「寂しさも、むなしさ」といった複雑な想いでこの日を迎えた。

キャリア5年の23歳、「とにかくレースに乗りたい」という気持ちで騎手を続けることを決心。4月1日付で川崎に移籍した。宇都宮の所属調教師と長谷川蓮太郎調教師が知り合いだった縁で3月27日川崎にやって来た。

宇都宮では「勝たせてもらったし、やれることをやれた」と3900戦305勝の実績。宇都宮の重賞もみじ特別ではサンデーロバリーで4角先頭に立ちタイトルを手に入れている。

規定により北関東では7月から騎乗予定。目標は「まずひとつ勝ちたい」とのことだ。



今野忠成ジョッキーがパパになりました！

今野騎手がパパになりました。4月9日午後1時11分に2680グラムの女の子が誕生。出産に立ち会って誕生の瞬間を見届けた新米パパ。「13時間かかったので感動よりホッとした」と満面の笑み。姫菜（ひな）ちゃんと名付けました。本当におめでとございます！

フジエスミリオネが川崎にやってきた！



北関東三冠馬フジエスミリオネが川崎にやってきたのは4月1日。宇都宮時代に所属していた仁岸進調教師と知り合いだったという関係で村田六郎厩舎に移籍が決まった。

厩舎に来てすぐはうるさかったと言うが、一週間もするとすぐに環境に慣れたという。早速調教で速い時計を出したフジエスミリオネだが、左回りのコーナリングもすぐに順応したんだとか。

「さすがむこうで成績あげてきただけあっていい馬だよ。いい顔しているし頭が良くて理解力がある。呑み込みも早い」と村田調教師の声のトーンも上がる。

21日の調教試験を受ける予定だが、その一追いで調子が上がって気合が出てきたらしい。「本当に賢い馬だから、競馬が近づいていることがわかるみたい」と。さすがは三冠馬である。自分の仕事をきっちりわかっているのだろうか。

普段は小向で調教をしているため、川崎競馬場に行くのは調教試験がはじめてとなる。「調教試験はスクーリングも兼ねる感じで。むこうで(宇都宮競馬廃止後)も調教はしていたし、レース間隔もちょうどいい。こっちも楽しみにしている。結果が出せるようにがんばるよ。」と終始村田調教師の顔は晴れやかだった。21日の調教試験に合格すれば29日のレースを使う予定。鞍上は金子騎手に決まった。

そのフジエスミリオネと一緒に宇都宮からやってきたのが、宇都宮時代からの担当厩務員である仁岸尚昌厩務員だ。仁岸厩務員の父は管理していた仁岸進調教師。尚昌厩務員はフジエスミリオネが道営から来た時から担当している。この馬の印象を聞くと「とにかく最初はうるさかった。今は成長した分まだおとなしくなったけど。頭が良すぎて世話しているときにねらって蹴ってきたりする」そんな話を聞いてしまったら、ケガもたえないのでは？と思いきや、「クセとかはわかっていいるから、ケガはしないよ」フジエスミリオネのことを一番理解している人の言葉だ。そしてこんなエピソードを聞かせてくれた。昨年のJDD。大井競馬場では、待機馬房の近くをモノレールが通るのだが、それにビックリして待機馬房に穴をあけてしまったらしい。やはり大物。やることが派手である（笑）。そんなヤンチャなエピソードを持っているフジエスミリオネだが、好きな食べ物ほりんごとバナナだそう。尚昌厩務員いわく、「にんじんより好きみたい（笑）」

宇都宮最後のレースとなった『とちぎ大賞典』はフジエスミリオネの強さを表すレースだった。かなりタテ長の展開になって、2週目の3コーナーではまだ7、8番手。正直「そんなところにいて間に合うの!？」という位置。4コーナーから直線に向いてグングン加速して最後は2着のヤマニバリをねじ伏せた。この瞬間、トリハダがたつほど興奮した。まさに3冠馬の意地。尚昌厩務員はこのレースについて「勝てると思ってた。だから勝つ勝たないより、どんなレースをするか、そっちのほうが気になった。」まさに最後を飾るにはふさわしいレースだったんじゃないだろうか。勝てると思っていても尚昌厩務員は相当プレッシャーを感じていたそう。でも、そういうの平気なんですよ。いくらプレッシャーを感じても、こっちは負けるためにレースをするわけじゃない。勝てるレースをするだけだから。」それだけ愛馬を信じているということなのだろうか。これから大舞台に出ることがあっても、このコンビならプレッシャーも吹き飛ばすだけの“信頼関係”があるように思えた。

最後に、宇都宮時代からのフジエスミリオネのファン、そしてこれから川崎所属馬としてフジエスミリオネを観て行くファンに「まだ馬場やレースのペースなど、やってみないとわからない。とりあえず慣れるまではあたたかく見守っててください」とメッセージ。この言葉の中には何十倍もの期待が含まれているのではないだろうか。



* staff room *

●「川崎競馬にとって勝負の年」。森副管理者の一言がずっしり重い今日この頃ですが、ミライが桜花賞を勝って川崎馬にとって幸先いい2005クラシックが始まりました。次回のGW開催ではクラシックへ挑む馬たち特集でエールを贈ります。あ

●春うららかな4月の朝、多摩川ではたくさんの大根の花が薄い紫色でお出迎えしてくれました。たんぽぽなども咲き乱れ厩舎の中では菜の花、ムスカリなども咲いているのがみられます。午後にはぽかぽか陽気で気持ちよいせいかぐっすりお昼寝中の馬たちの姿も。中には脚を投げ出して爆睡中の仔もみられました。写真はエスプリフェザント。思いうよう調整が進まずクラシックに間に合うか微妙な状態ということですが、ちょうどうつらうつら気持ちよさげにうたた寝中。ある春の日のひとこまでした。楓



●私が初めて川崎競馬場に行ったとき、白熱したレースをこんなに間近で見られる事に感激しました。そしてレースの激しさに対照的な、ほのぼのとしたカツマルくんの可愛らしさにも心惹かれ、一目見て以来すっかりファンになってしまいました。それ以来ずっと、カツマルくんグッズがあったらいいなと思っていたんです。そうしたら何と、今開催から来場者に抽選でカツマルくんのキーホルダーが当たる企画があるそうです。まさに念願がかなったという感じで大喜びしてしまいました。ぜひ私も手に入れたいです。と

●北関東三冠馬、フジエスミリオネが川崎に来ました！！彼が3冠戦線を走ってる時からファンだったワタクシですが、光栄にも今回のフジエスミリオネの原稿を書かせてもらいました。フジエスミリオネの素顔は前髪が長くてちょっとワイルドな感じがするのですが、それは厩務員さんのセンスだそうです。私は前髪が長い馬が好みなので、ますます彼のファンになってしまいました。村田先生も仁岸厩務員も彼にかける期待は大きいはず。みなさん29日、ぜひ川崎で彼の走りを観てくださいね～！！梅